2026 年 10 月 30 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

株式会社コスモスイニシアと「サステナビリティ経営評価型ローン“フロントランナー”」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員　大澤（おおさわ） 正和（まさかず））は、お客さまのサステナビリティ全般の取り組みを支援・サポートする評価型融資商品である「サステナビリティ経営評価型ローン“フロントランナー”（以下、本商品）」の取り扱いを行っております。

本商品では、サステナビリティ全般に関する取組への評価を取得し、一定基準以上のスコアを取得された企業については、「サステナビリティ経営評価型ローン“フロントランナー”」としての実行及び対外的な発信が可能となります。なお、サステナビリティ経営評価においては、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（以下「MUFG」）の一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「MURC」）をサービス提供者、サステナブルファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）をサポート企業としております。MURC が独自のチェック項目に基づき、お客様のサステナビリティ に対する取り組みやサステナビリティ基準委員会（SSBJ）基準への対応状況等を評価・スコアリングした上で、JCR との連携でより客観的な評価・課題等をお客様にフィードバックします。

本日、株式会社コスモスイニシア（代表取締役社長　髙智（たかち） 亮大朗（りょうたろう））は、MUFG サステナビリティ経営評価において、一定の評価を取得し、本商品にて当座貸越（専用口座）約定書契約を締結いたしました。

【本ローンの概要】

融資実行日	2026 年 10 月 30 日
貸付人	株式会社三菱 UFJ 銀行
融資総枠	130 億円
資金使途	既存不動産ストックの再生・活用事業を対象とする

【高く評価を受けたサステナビリティに関する取り組み】

＜サステナビリティを経営に組み込む体制の整備＞

- ✓ サステナビリティ推進室が全社横断で取り組みを推進し、取締役会がその進捗を監督する体制を整備。
- ✓ 6 つのマテリアリティを決定し、各マテリアリティに基づく取り組み目標（KPI）を策定・公表。

＜既存不動産を生かす「再生」を通じた資源循環＞

- ✓ 既存不動産ストックの再生・活用や廃材の再利用など、限りある資源を生かしながら新たな価値につなげる取り組みを推進。（今回拡大する融資枠は、こうした再生流通事業を対象とするもの。）

＜地域との共生、コミュニティ形成＞

✓ 地域と連携した防災訓練やコミュニティ活性化支援など、地域社会との交流を促進する取り組みを推進。

＜多様な人材が活躍できる環境づくり＞

✓ 女性取締役の選任、女性管理職比率の公表など、多様な人材の活躍に向けた取り組みと情報開示を推進。

コスモスイニシアグループは、Vision 2035「“新しいあたりまえ”をつくる、暮らしのビジョナリーカンパニー。」の実現に向け、サステナビリティ経営を中長期的な事業成長を支える基盤と位置づけています。人々の暮らしが将来にわたって健全に保たれることが、不動産事業の持続的な発展を支える前提との考えのもと、事業活動を通じた社会課題の解決と、持続可能な社会につながる価値を創出し、持続的な事業成長との両立を目指しています。

MUFG は、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのサステナビリティの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上